

# 小諸高原病院 精神科初期臨床研修プログラム

目次	1.小諸高原病院の紹介
	2.研修の目標
	3.研修のプログラム
	4.研修指導体制について
	5.連絡先
	6.現医局員紹介

## 1. 小諸高原病院の紹介

- \* 当院は昭和 19 年に陸軍軍医学校小諸療養所（結核）として設立され、戦後は結核療養所の時代を経て、昭和 38 年からは精神科に転科、国立の精神科療養所として発展してきました。
- \* 現在、精神科病棟 5（内、痴呆性疾患病棟 1）、重心（重度心身障害児）病棟 2、全体としては許可病床数 360、常勤医 13（内、内科医 1、小児科医 1）です。
- \* 精神科救急指定医療機関に指定されており、長野県東部の精神科救急医療の中核的な病院となっています。
- \* フォッサマグナ東端の活火山である浅間山の山麓、標高約 1,000 メートルの高さに位置しています。敷地面積は 70,000 坪で、その殆どが唐松や落葉広葉樹の自然林です。夏はカッコウやキツツキのさえずりを楽しめます。敷地内には高原の光と風を体感できる静かな遊歩道が整備されています。
- \* 病院の周囲にはいくつもの温泉があり、またスキー場も近く、美術館や高山の湿地帯など多くの観光スポットがあります。軽井沢までは車で 20 分の距離です。
- \* 研修医の宿舎は病院の敷地内にあり、食事は 3 食とも職員食堂でとることが可能です。
- \* 検査設備が整っていて、院内で殆どの検査ができます。とくに、herical CT、MRI は最近導入されて、中枢神経系の精密な画像診断に役立っています。

## 2. 研修の目標

1. 一般目標（GIO: General Inrtructional Objectives）
  - 1) 特有の研修内容
    - ① 代表的な精神科疾患である、統合失調症、感情障害（躁鬱病）、不安障害、身体表現性障害、痴呆性疾患の診断及び治療のポイントを学ぶ。
  - 2) プライマリケアとの関連
    - ① 他科領域との連携（精神科リエゾン）の実習を行う。
    - ② どの科を専攻しても必ず出会う「うつ病」の診断を学ぶ。
  - 3) 基本的知識の習得
    - ① 代表的疾患の診断と治療、精神科領域の薬剤の基礎知識、精神保健福祉法に基づく精神科病床の特殊性について学ぶ。

## 2. 行動目標 (SBO: Specific Behavior Objectives)

- ①統合失調症の診断と治療を経験する
- ②躁うつ病の診断と治療を経験する
- ③神経症の診断と治療を経験する
- ④症状精神病とリエゾン精神医学を経験する
- ⑤痴呆性疾患を含む、老年期精神障害の診断と治療を経験する
- ⑥児童・思春期精神障害（摂食障害・事例としての不登校を含む）の診断と治療を経験する
- ⑦非定型精神病の診断と治療を経験する
- ⑧人格障害（personality disorder）の診断と治療を経験する
- ⑨物質関連障害（アルコール依存症・覚醒剤精神病など）の診断と治療を経験する
- ⑩てんかん・てんかん性精神病の診断と治療を経験する
- ⑪精神発達遅滞の診断と治療を経験する
- ⑫精神科救急（夜間・休日の精神科救急、措置鑑定、入院患者の精神症状急変時の対応など）に対応できる
- ⑬司法精神医学（精神鑑定の問題を含む）の実際を経験する
- ⑭脳波・画像診断の読影ができる
- ⑮各種心理検査・心理療法・作業療法の適応を判断できる
- ⑯他科領域との連携（精神科リエゾン）を経験する
- ⑰精神科領域の薬剤の基礎知識を習得する
- ⑱精神保健福祉法に基づく、精神科病床の特殊性について述べるができる

## 3. 週間研修予定表

外来診療における陪席・予診、入院患者を主治医もしくは副主治医として実際に受け持つための研修を行ないます。

	午前	午後
月	病棟実習/外来での予診・陪席	病棟実習/講義/医局会での症例検討に参加
火	〃	病棟実習/講義
水	〃	〃
木	〃	〃
金	〃	病棟実習/講義/研修医カンファレンス

\* 院外研修：

- a. 国立長野病院におけるコンサルテーション・リエゾンの実習
- b. 地域の保健所では、病院を直接受診できない人たちのための精神保健相談、思春期相談、痴呆介護相談などが行なわれており、当院の医師も協力しています。希望により、こうした保健所活動や患者の家庭訪問などに同席することもできます。
- c. 精神障害者のための小規模作業所や保健所等でのデイケアの見学・実習も可能です。

\* 当直の体験の希望があれば、当院の当直医と一緒に副当直として当直を体験することができます。

- \* 夜間・休日の緊急入院（精神科救急）の実習もできます。
- \* 希望があれば精神科関連の基本文献の講読会を行ないます。
- \* 研修の最後に、研修医による症例呈示及び検討、総括討議等を行ないます。

#### 4. 研修指導体制

研修指導委員長：病院長

1. 指導管理医：専任医師 2 名。
2. 指導医：実務 7 年以上の精神科医師または精神保健指定医。
3. 各研修医にそれぞれ個別に専任の指導医が付く tutor 制を考えています。
4. 外来での予診・陪席は自分の tutor 以外の多くの医師の実際の診察場面を順次、経験し、様々な診察・治療のやり方を学べるようにします。
5. 診療責任は指導医が担います。
6. 研修指導会議：隔週開催。  
指導管理医、指導医、研修医代表または希望者が集まり、相互の意思の疎通を図り、研修医の希望も含めた意見交換を行なう場とします。ただしそれ以外の場でも自由に意見を伝えてもらってかまいません。
7. 講義（クルズス）。
8. 研修終了後も 2 年間は、担当医師（もしくは適当な当院の医師）に、精神科に関するコンサルテーションを求めることができます。

#### 5. 連絡先

小諸高原病院 医局

代表：精神科医長/喜多<sup>きたひとし</sup>等

〒384-8540 長野県小諸市甲 4598

TEL:0267(22)0870

FAX:0267(23)7034

e-mail:ikyoku@komoro.hosp.go.jp

#### 6. 指導医紹介（2009-06-01現在）

院長 庄田 秀志〔精神病理学、病跡学〕  
 精神科医長 喜多 等〔精神分析学、内観療法、精神病理学〕  
 精神科医長 杉村 謙次〔精神医学、精神薬理学〕